



Japan. Committed to SDGs



2023 サステナビリティレポート

持続可能な未来を目指すIWATAグループの活動報告書

Be the Change You want to See the World



Be the Change You want to See the World



インド独立の父と呼ばれるマハトマ・ガンディーは『Be the Change You want to See the World』という言葉を残しています。

『周りや環境の変化を待っていても何も変わらない、世界を変えたいのなら自ら動くのみ』と問いかけたこの言葉は、社会の問題を自分事として捉え、変化の担い手になることの重要性を意味しています。

私たち岩田商会も社会の一員として地球の抱える問題に向き合い、サステナブルな未来に向けて取り組みを進めていきます。

IWATAのSustainability



1902年岩田商会は『岩田弥七商店』として名古屋にて創業しました。繊維産業が盛んだった名古屋の街で、織物の染色に使う草木灰をリアカーに乗せて売り廻ったのが岩田商会の始まりです。私たちは120年前から化学産業に携わり、リサイクルに努めてきました。

岩田商会は創業当時より、化学製品を供給することで社会を支えています。化学物質は適切に使えばサステナブルな地球環境や人類の未来を創造することが出来、人々の生活を豊かにすることが出来ます。

私たちは、人々の快適な生活を支える商品の提供、リサイクルや廃棄物の適切な処理への取り組み、地球環境や安心安全に配慮した製品開発を通じて、SDGsの17の目標に貢献してきました。昔も今も岩田商会の中核事業は化学です。今後も化学の力で地球上に暮らすすべての人々の幸せと未来に貢献していきます。

岩田商会 SDGs取り組みのポリシー

化学の力と可能性を結集したSDGsへの取り組み

IWATAグループのモノづくりと商社機能の融合による、地球と人類への新たな価値とサービスの創造

社員の日常生活と企業活動を通じた社会貢献

化学で人々の生活を支え、持続可能な未来へ取り組みます。

2030年のありたい姿

Tradition and Innovation

~歴史&伝統とともに挑戦&飛躍しよう~

IWATAグループの強み

- ・長い歴史と伝統で培われた顧客との繋がり信用
- ・モノ作りも出来るグループの力
- ・幅広い事業分野にわたる事業展開
- ・社員の好奇心と向上心
- ・挑戦を後押しする企業風土

IWATAグループが創出したい未来

もっと化学の力で もっとIWATAの力で 笑顔で暮らせる2030年を創造しよう

事業目標

- ・IWATAグループ 事業規模 600億達成
- ・新たな事業と事業部（第6、第7の柱）の確立


2030年のありたい姿

財務目標

- ・自己資本比率 5ポイント向上

人材目標

- ・基盤事業を強化し、新規事業を創造する人財
- ・専門性を高め、一意専心その道を究める人財



トップメッセージ

株式会社岩田商会 代表取締役社長
岩田 卓也



未来に希望を描きたい。これは国籍・性別・年齢・人種を超え、全世界の皆が共有する願いです。

ところが現在、人類は多くの課題に直面しています。環境問題・格差社会・差別・貧困・気候変動・生態系の異常など、未来を脅かす課題に対し私達が起こすべきアクションは何でしょうか？そんな未来を変えたい、未来をより良いものにしたいという思いがSDGsに込められています。

岩田商会は1902年の創業以来、日本が誇る化学産業の成長と共に歩んできました。化学の技術とモノづくりは人々の暮らしに密接しています。100年前も現在も、化学の力と可能性を人類のため・地球のために活かしていくことが私達の普遍的な使命です。それはSDGsの概念に適合していると思います。これから10年も100年も、私たちは変わらぬ使命のために歩み続け、化学の力とすべての企業活動を通じて未来の地球に貢献していくことを誓います。

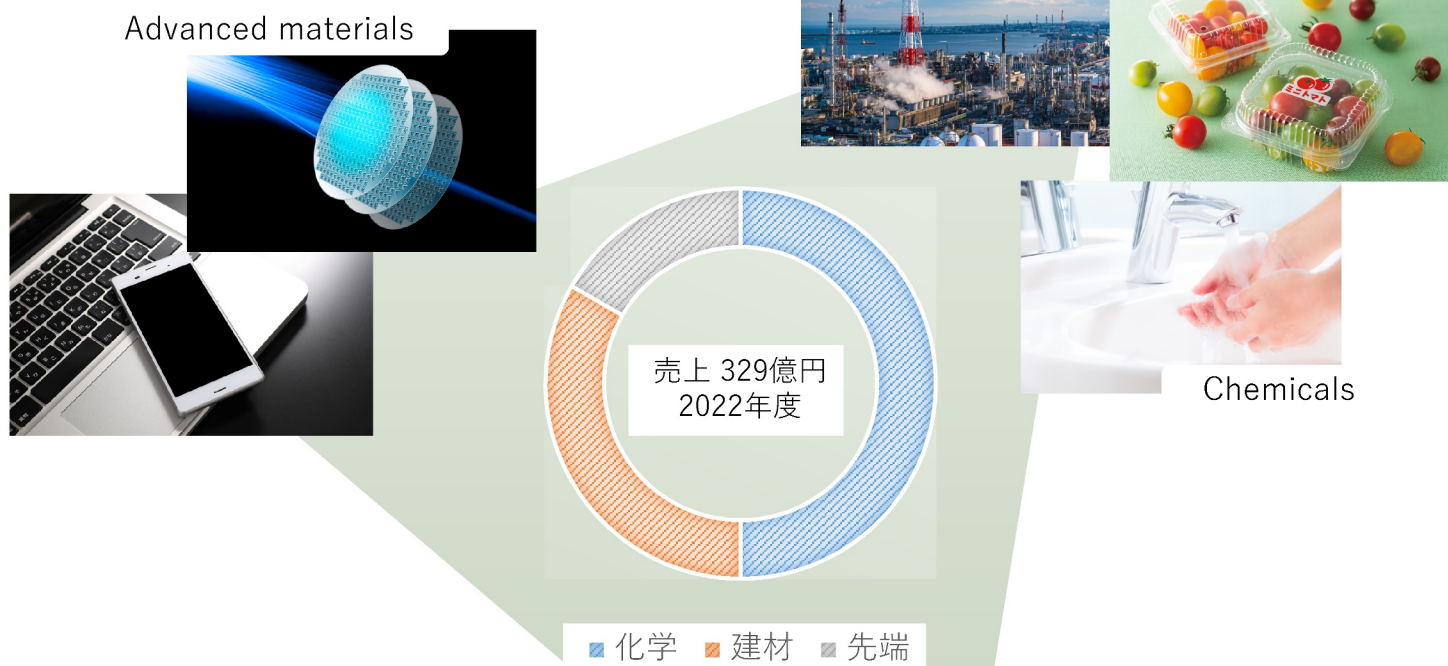
岩田商会は2030年とその先の未来へ。化学で人々の生活を支え、持続可能な未来を創造します。

IWATAグループの概要

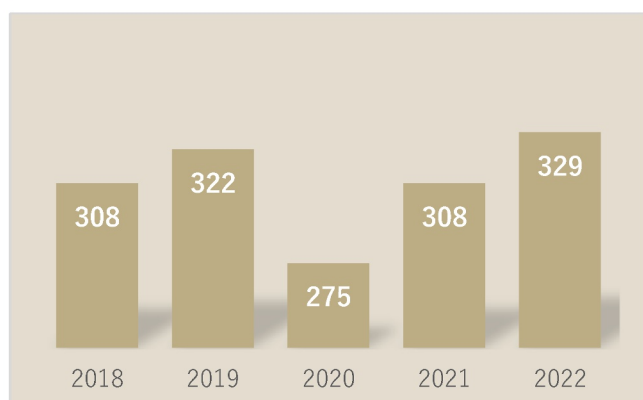
▶ 事業概要

岩田商会は、化学品・建築材料・先端材料を軸にIWATAグループ各社とのパートナーシップで事業活動を展開しています。接着剤シーリング材の製造を担うオート化学工業をはじめ、グループ各社の製品も供給しており、メーカー機能を併せ持った商社として、社会のニーズにマッチした商品を提供し続けています。人々の生活が豊かにサステナブルであるために、社会に新しい価値を提供しつづけます。

▶ 岩田商会 売上高構成比率



▶ 売上高推移(億円)



▶ 会社概要

社名	株式会社岩田商会
所在地	名古屋市中区錦1-2-11
創業	1902年(明治35年) 資本金9720万円
従業員数	約140名(単独)
関連会社	8社(うち海外1社)



温暖化対策を軸に、
環境と企業収益の両立に努めて
まいります。

化学品 取締役 山田 紀幸

岩田商会と化学品事業

岩田商会の起点は化学品事業であり、今でも会社の基盤となっています。

当事業部は化学品メーカー各社とのパートナーシップを強みに、化学製品や原材料で人々の生活を支え、循環型社会の形成に貢献しています。

特に温暖化対策・水処理といった環境問題に対するアクション。ICT・DXなど、最先端の情報技術への実現、また樹脂・食品包装分野ではフードロスの削減や環境に優しい新素材の普及などで、地球が抱える課題の解決に取り組んでいます。

担当役員メッセージ

2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組み『パリ協定』、世界は合意達成に向け一斉に脱炭素へ向けて舵を切りました。また、海洋プラスチックの問題、世界的な水不足。これらは「SDGs」においても取り組むべき課題として設定されています。当事業部では、これらの課題の重要性を認識し、温暖化対策に効果的な低GWPフッ素洗剤、生分解性プラスチックの普及、安心安全に水を利用するための薬剤や機材の販売など事業機会につなげる取り組みをサステナブルな未来に向けた経営課題として推進しています。私達は地球の未来と人々の安心安全な生活を思い、今後も社会に求められる製品を提供し続けます。

世界にはこんな課題が

寒い冬を暖かく過ごすことができる衣料、ヨーグルト・ワインなどの発酵食品、快適な住空間を提供するための壁や床。私たち人間ははるか昔から、化学の力で生活を豊かにしてきました。

しかしその反面、化学は使い方を間違えると自然を破壊し、人や動物の体内に入ることによって身体を蝕んだりします。公害や中毒といった問題は昔の話ではありません。『PM2.5』による大気汚染も化学が起こす問題です。そして、地球温暖化は目下人類に課せられた最も重要な課題の一つです。

IWATAが目指す未来

今この時も進化し続けている化学の技術。化学は正しく使用することで、未来を開き、人々に安心快適な生活をもたらしてくれます。

岩田商会は化学を安全適正に利用することは、私たち世代だけの問題だけでなく、未来の世代に向けた義務であると考えています。

私達は循環型社会の形成を行い、豊かな地球をサステナブルにつないでいくとともに、社会の問題と化学を結び付け、新しい価値観の創造へつなげます。

IWATAの取り組み

排水を中和・凝集処理する薬剤。水処理用フィルター。プラスチックのリサイクル。または、生分解性プラスチック及びバイオマスプラスチックの普及によるCO2の削減。土壌汚染・水質汚染対策に有効な肥料。低GWP(地球温暖化係数)・オゾン層破壊係数ゼロの製品の普及。情報社会を支える半導体技術。その他、岩田商会が提供する多くの製品は化学の力で人々の生活を支えています。

I W A T A は常に人や環境への影響を念頭に置き、持続可能な未来を意識した取り組みを行っています。

従来の価値観にとらわれず、
新しい生活に快適を提供して
まいります。

岩田商会と化学品事業

グループ会社の『オート化学工業』は、大切な住まいを守るためのシーリング材・接着剤・防水材などを取り扱う建築材料のメーカーです。岩田商会ではオート化学工業の商品をはじめとして、床材・壁材・住設機器なども提供しています。それらの商品には環境やバリアフリーに配慮されるだけでなく、新しい生活に要求される抗菌・抗ウイルス効果のある商品も含まれます。私たちの提供する商品・サービスは住宅だけでなく、オフィス・病院・学校・土木においても人々の支えとなっています。

担当役員メッセージ

当事業部では、高機能・超耐候性を付与する材料提供を心がけ、製品開発・販売に取り組みます。一液性高機能・超耐候性シーリング・防水材使用により、建築物の長寿命化が可能になります。これにより改修期間の延長・リフォーム・改修回数を減らし、建築廃材の減少、間接的に地球温暖化の低減に寄与します。資材容器については、業界の先駆けとしてリサイクル・減容容器の使用で廃材の省力化に取り組み続けています。また、防滑シート用水性エマルジョンウレタン接着剤を改修工事に提案することにより、施工業者の健康と住民の健康・安心・安全を提案します。弊社事業部内プロジェクトとして活動している環境建材グループは、地球環境にやさしい製品の提案・販売を行います。我々は、地球温暖化防止に貢献し、明るい未来を目指して製品の開発・提供を続けます。

世界にはこんな課題が

新築家屋やリフォーム直後の室内で頭痛・吐き気・手足のしびれなどの訴えがあります。これらの健康被害は建築材料に含まれる化学物質が発散する有毒なガスによる影響で、住宅に住む人だけでなく、建築物を造る作業員の健康を害しています。

また、建物の長寿命化は建築物にとって重要な課題です。しかし、昨今は職人不足による建築物の質の低下が問題となっており、特別な技術が無くても大切な住宅が、長期にわたり美しく使用できるような技術開発が求められています。

IWATAが目指す未来

住宅があるからこそ守られる生活。私たちが安心して生活出来るのはそこで住む人を守ってくれる住宅があるからです。

IWATAはそこに住む人と、それを造る人の健康を気遣います。

また、長期優良住宅への貢献から住宅のライフサイクルコストの削減。人手不足への対策として作業性に優れた機能的な製品を提供することを目指しています。

IWATAの取り組み

揮発性有機化合物(VOC)への対策として有機溶剤の使用を削減した製品。

ライフサイクルコストを抑える取り組みとして、住宅の長寿命を支える製品の開発。ライフサイクルコストの低減は、温暖化対策へもつながります。

また、感染症対策としての衛生商品の供給。学校・病院などといった公共の場で、感染症のリスクを減らします。

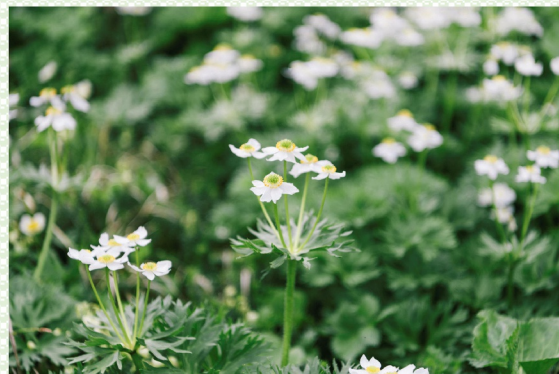
IWATAは安心安全な住環境の提供を通して、サステナブルな未来と人々の快適に貢献しています。



事業戦略で貢献する取り組み

岩田商会在事業戦略で貢献する取り組みは、企業活動における『製造時』『製造自体』『製造後』すべての段階においてSDGsに貢献し、地球や社会活動を支えています。

私たちは今世界で何が起きているのか、どのようなイノベーションが必要とされているのか、社会の声に耳を傾け、具体的な解決策を提供しています。



限りある水を大切にしよう

地球環境



世界にはこんな課題が

私たちは石油・石炭・金属・水など、多くの資源を自然から得て生活しています。これらの資源の多くは長い年月をかけ作られたもので、人の手で作ることが出来ないものや、数十年後には無くなってしまわれる資源もあります。世界は豊かになり、人々が使用するエネルギーや資源の量が増える中、限りある資源を大切に使う技術を見つけていかなくてはなりません。

IWATAが目指す未来

世界の資源が有限であると同時に、日本が多くの資源を輸入に依存しているというのも課題の一つです。社会情勢の変化で輸入が困難になったときも、私達は少ない資源を大切に使うため、効率のよい資源利用が出来る技術を持ち合わせていかなければなりません。水資源に関しても、日本の豊かな資源をサステナブルに使い続けられる様、環境に配慮した循環を目指しています。

IWATAの取り組み

日本は水に恵まれた国ですが、世界では水の確保に苦労しています。水の有効活用にIWATAは特に関心を持っています。私達の販売する薬剤はクリーンな水の確保に役立ちます。また、様々な分野において使用する薬剤量を、減らす為のツールをもっています。ひとつは、水処理膜の活用です。従来薬剤で分離していた水の再生・再利用に水処理膜を使い、薬剤の使用量を抑えています。また、分析機器の高性能化による薬剤や使用部材の削減を提案しています。これらは環境負荷物質の排出や発生を抑え、エネルギーや資源を守る取り組みであり、サステナブルな未来へとつながります。

TOPICS

軟水装置

背景

水の硬度成分(カルシウム成分およびマグネシウム成分)は洗浄の品質の低下や余分な洗剤を消費するなどの問題を発生させます。また、成分が結晶化することによりボイラーの性能低下や配管のつまりなどのトラブルの原因となります。

事業インパクト

- ・イオン交換樹脂によって硬度を効率的かつ経済的に除去する。
- ・RO膜やNF膜などを利用したメンブレンによる処理は高度な水処理に適している。



軟水装置 トスク

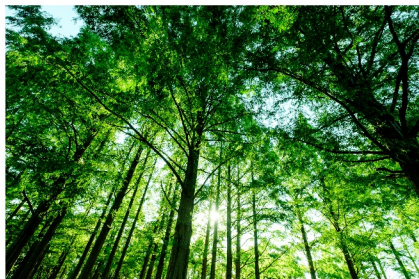
地球温暖化対策

地球環境



世界にはこんな課題が

国連は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気減速にも関わらず、2020年、地球温暖化への影響をもつCO2濃度が記録的なレベルに上昇しているとまとめました。石油化学製品の普及で人類の生活は便利に豊かになりましたが、温暖化により、海面上昇や異常気象の増加が起これ、生態系へ影響を及ぼしています。気候の変化は食・水・健康へも影響を及ぼすため、取り返しのつかない状況にならないために、世界中で様々な議論がされています。



IWATAが目指す未来

温暖化対策は今人類が直面する最も重要な問題の内のひとつです。早急な対応が求められており、IWATAは事業活動を通じ、あらゆる角度から地球温暖化対策につながる取り組みを行ってまいります。

IWATAの取り組み

エアコン・自動販売機などに使われる冷媒、金属加工部品の洗浄やドライクリーニングなどに使用されるフッ素系の溶剤・洗浄剤の販売を通じて、低GWP・オゾン層破壊係数ゼロの製品を普及する取り組みをしています。

建築の分野では日差しを効果的に遮り、都市のヒートアイランド問題を解決する切り札として開発された『エアリーシェード』の販売。『エアリーシェード』は水や電気を使用せずに暑さの原因である輻射熱を大幅に抑えます。

また、関係会社の小倉サンダインが取り扱う『樹脂サッシ』も断熱性に優れ、寒さに強く省エネにつながる商品です。

IWATAは待ったなしの環境問題に有効な解決策を提供しています。

* GWP（地球温暖化係数）・・・二酸化炭素を基準として、他の温室効果ガスがどれだけ温暖化に影響があるか表した数字

TOPICS

低GWP フッ素系洗浄剤

背景

2015年には2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みであるパリ協定が決められ、気候変動に対する世界共通の長期目標を定めています。

また、政府は2050年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言しました。

事業インパクト

低GWP（二酸化炭素より地球温暖化係数の低い）フッ素系洗浄剤の普及により、温暖化防止に貢献する。従来品に比べ600～2000分の1のGWP。

生物多様性と海洋プラスチック問題

地球環境



世界にはこんな課題が

波間を流れる空のペットボトル。海流に何千キロも運ばれ続けるプラスチックごみ、人類は大量のマイクロプラスチックを発生させています。海洋プラスチック問題は国際的にも大きな問題となっていますが、海に囲まれた日本も他人事ではなく、日本の沿岸で回収された漂着ごみは年間約3万トンから5万トンにも及びます。レジ袋削減などは近年日本でも取り組みが進み2020年7月1日以降は有料化が義務化されることとなりましたが、日本の取り組みは世界的にみると遅れています。



IWATAが目指す未来

レジ袋を食べるものと間違い、胃袋の中をレジ袋でいっぱいにしてしまうクジラ。漁網に絡まりもがき動けず死んでしまったウミガメ。人間の利便性とは裏腹に、分解されることなく海を漂う海洋プラスチックが、生物の生育に深刻な問題を引き起こしています。豊かな自然から育まれる海洋資源は、漁業・観光などを通じて私たちの生活に多大な恩恵を与えてくれる場となっています。IWATAは、海洋生物の持続可能な生息を目指し、生物多様性に貢献したいと思っています。



IWATAの取り組み

海洋プラスチック問題の解決には世界中で多角的な取り組みがされています。プラスチック製品の利用削減。ごみの回収。リサイクルの推進。代替製品の開発。または浜辺でのごみ拾いに取り組んでいる団体等。その取り組みは幅広く、問題の深刻さを現わしています。IWATAも健全な海洋生態系の維持に向け、リサイクルの継続と、生分解プラスチックの普及拡大を行ってまいります。

生分解性マルチフィルム

背景

マルチフィルムは畑の畝を覆うことによって発芽及び野菜の成長を促進、また、雑草の抑制などの目的で使用されています。石油系・ポリエチレン系のマルチフィルムは使用後地面からは剥ぎ取り、産廃処理しなければなりません。

事業インパクト

畝に張られたマルチフィルムは収穫時にほとんど原型をとどめない程度まで分解されます。生分解しないものに比べ高価であるが、廃棄処分にかかる人件費、及び諸経費を考慮すると安価となる。

TOPICS



土壌水質汚染対策

地球環境



世界にはこんな課題が

植物の成長に必要な栄養素『窒素・りん・カリウム』なかでも窒素は生長に著しく影響を及ぼす栄養素です。農作物の収量を高める目的で過剰に農地に施された肥料は、微生物の分解後、硝酸態窒素となり、農作物が吸収切れない分が地下水へ流出し、環境水域を汚染します。



IWATAが目指す未来

私たち人間は海や川、大地からの恩恵を受け生きている反面、野菜を効率よく生産するために、大地に化学肥料撒き、洗剤・石鹼などを使い、水を汚しています。

これからの未来、今と変わらず安心して水や大地を利用出来る未来が続くように、IWATAは人々の生活における化学物質の循環を正常なものにしたいと思っています。

IWATAの取り組み

関係会社の岩田産業では肥料の販売を通じ環境保全への取り組みを行っています。

「硝抑化成抑制材入り肥料」は窒素源として施されたアンモニアが硝酸に分解されるのを抑える作用があります。

アンモニアは土壌粒子に吸着され容易に流出しないため地下水の汚染を防ぐとともに、作物の吸収効率を高め、肥料使用量を削減することも可能です。

「硫黄コーティング肥料」は肥料粒の表面に硫黄の被膜を施すことにより、肥料の溶解が緩やかになり同様の環境保全効果があります。被膜の硫黄は土壌中に分解され環境中に残留しません。

TOPICS

硝酸態窒素による地下水汚染

背景

硝酸態窒素は水に溶けやすく、土壌に保持されにくいいため、地下水や河川水に溶け出しやすい性質をもっています。また、無味、無臭、無色透明で、飲み水に含まれても気づくことはありません。

事業インパクト

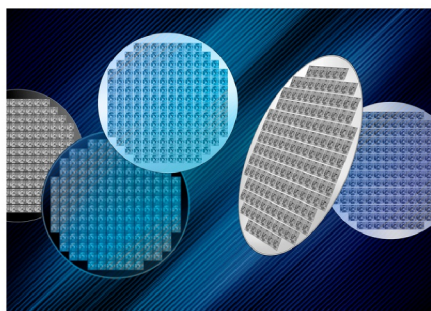
地下水は一旦、汚染されるとなかなか自然には浄化されません。地下水の汚染を未然に防止し、正常な状態を維持することが最も重要です。



世界にはこんな課題が

2000年代『IT』という言葉に注目が高まり、インターネットはなくてはならない存在となりました。

そして今、『ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる』という概念をもつ『デジタルトランスフォーメーション(DX)』の推進が注目を浴びています。パンデミックを経てまた大きな変化を迎えようとするこの世界。進化したITと、新たな概念を形にする高度な技術が求められています。



IWATAが目指す未来

情報技術の向上には莫大な量のデータを高度な情報処理技術で、スピーディーかつ正確に処理することが求められます。

I W A T Aは高性能な半導体の存在が、情報技術の発展と、最先端技術への貢献につながるものと考えます。

IWATAの取り組み

情報処理になくてはならない半導体。I W A T Aは半導体デバイス材料のシリコンウエハー。製造工程で使用する薬品。高性能フィルターからクリーンルームといった設備や計測機器に至るまで半導体産業を多方面から支えています。

関係会社の岩田産業ではICパッケージ基盤の表面処理に必要とされる高品質・高純度な薬品を供給しています。また、関係会社のセイブにおいては、洗浄装置や周辺機器の製造・メンテナンスを半導体メーカーへ納入し、情報技術を支えています。



TOPICS

パーティクルカウンター（微粒子計測器）・薬液濃度計

背景

半導体の製造プロセスにおける、品質と歩留まりの低下をまねく微粒子汚染を管理する手法として、パーティクルカウンターを用いた製造環境とプロセスのモニタリングは非常に有効です。また、薬液処理は表面処理の均質性に影響し、歩留まりを左右する重要な工程です。

事業インパクト

半導体デバイスの技術進化に伴い、より高度な製造工程管理・薬液の品質管理が求められてる。高性能の計測機器を使用することで、半導体の品質安定につながる。

VOC削減

安心安全



世界にはこんな課題が

有機溶剤は、様々な製造現場で塗装、洗浄、印刷などの作業に幅広く使用されています。一般的に揮発性が高いため、環境中に放出されると呼吸や皮膚を通じて人体に吸収されやすく、シックハウス症候群などの中毒を引き起こす危険性があります。また、大気中の光学反応により、光化学スモッグを引き起こす原因物質の一つとされています。揮発性有機化合物（VOC）対策として、有機溶剤の使用削減は大きなテーマです。



フロアQイックZERO
オート化学工業



楽々巾木のり ダイアボンド工業

IWATAが目指す未来

IWATAは居住者の健康維持と作業者の安心安全、そして作業性を高めた商品の開発を目指しています。ユーザーの要求に耳を傾け、環境に配慮したモノづくりだけでなく、建築に携わるみなさんの職場環境の向上にも貢献していきたいと考えています。

IWATAの取り組み

岩田商会はグループ会社のオート化学工業と社会のニーズに応えられる商品開発に取り組んでいます。オート化学工業の製品は様々な建築の現場で使用される製品です。新たに開発した『フロアQイックZERO』は床用の水系接着剤で、塗布後すぐの貼り付けが可能、強力接着、耐水性能を持ち合わせた商品です。

もちろん有機溶剤を含まず、さらに低臭なため、居住者や作業者の安心安全に配慮しています。

また、関係会社のダイアボンド工業との共同開発から生まれた『楽々巾木のり』も有機溶剤を含まないVOC対策に貢献した商品で『フロアQイックZERO』と共に、作業者の視点に立った商品として、日本接着剤工業会の『4VOC基準適合製品』に認定・登録されています。

TOPICS

有機溶剤を使用しない接着剤

背景

トルエン、キシレンなどのVOCは呼吸器障害、中枢神経障害、はきけ、頭痛、めまいなどの原因となり、発がん性があるといわれています。

事業インパクト

フロアQイックゼロは水を媒体としたウレタン接着剤で、VOCによる大気汚染を抑えることができます。環境省の『環境技術実証事業（ETV）』の「大気環境保全技術領域」の分野で効果を実証済みの技術です。 実証番号：061-2101



フロアQイックZERO 作業風景



世界にはこんな課題が

パンデミックにより世界各国で医療崩壊が起こり、多くの方が亡くなりました。私たちは今までの生活スタイルを変更することを余儀なくされ、マスクをし、他人との距離を置き、学校も仕事も医療もリモートで行うことが広がりました。また、殺菌・消毒が感染症対策に有効であることが世界中に認知されました。コロナ禍を通して衛生管理は注目を浴びることになりました。



IWATAが目指す未来

不衛生な環境で生活することは、感染症・食中毒・悪臭・カビなどにより病気のリスクに晒されることとなります。IWATAは衛生環境の整った社会環境が構築されることにより、人々が安心安全に生活できる環境を提供していきたいと考えています。

IWATAの取り組み

関係会社のオート運輸倉庫では上下水道の殺菌消毒、プールの殺菌消毒などに使われる『オートラック(次亜塩素酸ソーダ)』を販売しています。

建築材料の分野では、ウイルス感染のリスク軽減を目的とし、抗ウイルス効果のある『塩化ビニール製床材』の普及販売を行っています。病院・学校・介護施設など各所で使用され、公衆衛生に貢献しています。また、内視鏡の殺菌を行うためフィルターを取り扱っています。

日々の生活から医療まで、IWATAは人々が安心して生活できる環境造りに取り組みます。

TOPICS

抗ウイルス 塩化ビニール製床材

背景

新型コロナウイルス（COVID19）によるパンデミックを機に、世界中で公衆衛生の重要性が再認識される。

事業インパクト

抗菌の床材は以前から普及していたが、パンデミックにおいて抗ウイルスの材の普及が病院・学校・介護施設などの施設で求められる。



ライフサイクルコストの低減

高機能商品



世界にはこんな課題が

雨風にさらされる建築部材、その経年劣化は避けられない問題ですが、持続可能な社会が求められる中、出来る限り修理や修繕を必要としない部材に期待が寄せられています。すべての人が安心安全に暮らすことが出来るサステナブルな環境が世界中で必要とされています。



1液型ワーキングジョイント対応
シーリング材スマートシール



高耐候・省施工ウレアックスHG
オート化学工業

IWATAが目指す未来

IWATAは建築物の長期優良化への貢献をめざしています。住宅の長寿命化を実現することで憧れのマイホームを手に入れた家族に永続的に安心安全な居住空間を提供します。また、メンテナンスの回数を減らすことで、ライフサイクルコストの削減・人手不足といった問題にもポジティブな効果を発揮出来ると考えます。『住宅を長く愛して使って欲しい』『サステナブルな未来へつながるインフラに貢献したい』IWATAは技術でその思いを届けたいと思っています。

IWATAの取り組み

私たちはグループ会社のオート化学工業と建築のサステナビリティに貢献できる商品づくりをしています。オート化学工業の製品『イクシード』はこれまでにない30年以上の耐久性・耐候性試験に合格した「高機能シーリング材」です。長期にわたり大切な建物を雨水の侵入から守ります。「高耐候コーティング材」の『ウレアックスHG』は20年以上の耐候性を有し、独自の工法により省施工を可能にし、塗料と防水を併せ持つハイブリット機能で建物のライフサイクルを伸ばすことが出来ます。また、高層建築用のシーリング材『オートンスmartシールW1』、土木用シーリング材『オートン超耐シーラーTF2000』いずれも20年相当の耐用年数を持ち、持続的なまちづくりに貢献しています。

TOPICS

1液型の超耐候性ウレタンシーリング材

背景

シーリング材は建築物の防水性・気密性を目的とする防水材で外壁の目地に使われます。長期にわたり大切な建物を雨水の侵入から守ります。

事業インパクト

- ・長寿命化・・・ライフサイクルコストの削減
- ・人手不足対策
- ↓
- ・温暖化防止



オートンイクシード
オート化学工業

食生活を支える包装

高機能商品



世界にはこんな課題が

軽い・さびない・腐らない、便利で安全な素材として普及してきたプラスチック。医療・自動車・食品包装など、生活のあらゆる分野を支えてきた素材です。しかし近年、廃棄プラスチックによる海洋プラスチック・マイクロプラスチック汚染、または土壌汚染などの環境破壊が世界全体で問題視されており、代替品の開発が課題となっています。



IWATAが目指す未来

プラスチック製品には様々な問題提起がされてきましたが、安価で衛生管理が容易なため長い間にわたり幅広く利用されてきました。食品トレーや菓子の包装などは特に身近なものとして、だれもがその利便性の恩恵にあずかってきたことと思います。食品の長期保存によるフードロスの削減、抗菌トレーなどの利用による衛生管理。プラスチックにはそれを必要とされてきた理由があります。私たちはこれからも利便性を環境に配慮しながら追い求めていきたいと思っています。

IWATAの取り組み

プラスチックがサステナブルな素材となるよう、いくつかの取り組みをしています。製品製造時に発生した廃材をリサイクル原料として回収し、資源を循環させて石化原料の消費を抑制。そして、バイオマスプラスチックと生分解性プラスチックの利用促進をし、植物及び再生可能な有機資源由来のバイオマスプラスチックの利用によりCO₂の削減。また、生分解性プラスチックの利用で廃棄プラスチックによる汚染を抑制。『便利で安心できる生活、豊かな自然』をサステナブルなものとしていきます。



TOPICS

リサイクルPET樹脂使用 食品容器

背景

現代生活においてなくてはならない食品の梱包材。日々消費大量消費する食品容器による環境への影響が懸念されています。

事業インパクト

原料にリサイクル材を取り入れることにより、CO₂の排出を抑える。
ペットボトルをリサイクルした再生シートはバージン品と比較し、CO₂排出量を70%以上抑えることが出来る。

企業活動を通して貢献する取り組み

岩田商会は企業活動を通じ従業員の幸せと社会の幸せに貢献することに力を入れています。働きやすい企業であること、弱者にやさしい企業であること、それは、岩田商会が持続可能な企業であり続けるために重要なことであると考えています。



女性の活躍を応援する ダイバーシティ&インクルージョン

地球環境



世界にはこんな課題が

近年、女性の就業に対する意識は大きく変わりました。日本の女性就業率は増加し、全就業者に占める女性の割合は43.5%と欧米諸国とほぼ同水準です。その一方で、管理的職業従事者における女性の割合は、近年増加傾向にあるものの、13.0%と低水準にとどまっています。その数値は欧米諸国のほか、シンガポールやフィリピンといったアジア諸国に比べてもかなり低く、国内の女性管理者登用については課題が残っています。育児・介護の問題から女性が活躍の機会をあきらめてしまうことも、いまだ少なくありません。

IWATAが目指す未来

現代の女性が感じる多種多様な壁。生き方の選択肢が増えた反面、抱える課題も増えました。女性の多様な悩みに対して、前向きに向き合いたい。悩んでしまうことで、貴重な就業意欲を無駄にしてしまつてはもったいない！！それぞれの生き方を応援したい！！IWATAは女性の頑張りたい気持ちを支えていきたいと思っています。

IWATAの取り組み

キャリアアップを希望する女性のために入り口を二つ用意してあります。採用時に総合職を希望して入社。または、一般事務職として経験を積み、総合職に転じてキャリアアップを目指す方法です。また、転勤を伴わない『地域総合職』という働き方を選択することにより、結婚・出産といった女性の人生イベントへの不安を軽減することが出来ます。すべての女性が多様な働き方から自分のスタイルを見つけられるように、IWATAはその機会を提供し続けます。

TOPICS

育児休業制度

背景

女性の社会進出が進み、岩田商会でも子育てをしながら働きたいという女性が増えてきました。

近年、子育てと仕事の両立が難しいという理由で仕事の継続を諦めた女性はおらず、今も多くの女性が子育てをしながら仕事をつづけています。

事業インパクト

産休期間後も短時間勤務の制度を設け、優秀な社員に子育てしながら継続して勤務してもらうことが可能となった。



グローバルゼーション

人材戦略



世界にはこんな課題が

異質なものを嫌い、世界中で戦争やヘイトが絶え間なく行われています。近年はアメリカやユーロ圏において他民族の受け入れを拒む姿勢が問題となり、島国である日本は未だ海外の文化が入りにくい土壌が残っています。しかし、日本を拠点に暮らす外国人も増えており、300万人近くの外国人が日本で生活しています。今後、国内でも多種多様な国から来た方と同じ環境で生活し、社会活動を行っていくことは避けられなくなっていますが、同一労働同一賃金が実施されていないのが現状です。

IWATAが目指す未来

少子高齢化の進む日本において、今後国内市場が縮小するのは避けられない状態です。IWATAは国内だけでなく海外へ視野を広げ、よりグローバルな企業として大きく未来に羽ばたいて行くことを目指します。その足掛かりとして、外国人従業員を積極的に採用し、活躍に期待をしています。

また、外国人従業員に同じ未来を目標としてもらうため、日本人と同じ給与、業務、教育で会社の一員として働いてもらい、人や国の不平等の無い社会を目指します。

IWATAの取り組み

IWATAは中国及びインド出身の社員を採用し、今も日本人スタッフと肩を並べて仕事をしてもらっています。営業経験の無い外国人従業員も海外取引経験のあるスタッフが丁寧に指導し、事業の拡大に向けて共に頑張っています。IWATAでは今後も外国人従業員の採用を継続し、SDGsの達成と、サステナブルな未来につなげていきます。

TOPICS

グローバル愛知

背景

今後、海外事業の拡大をめざし、『日本企業の人材不足の解消』と『留学生の就職率向上』をミッションとするグローバル愛知からの人材紹介を受け、外国人従業員の採用を進めている。

事業インパクト

- ・日本語も堪能な外国人従業員の採用
- ・海外事業への積極関与
- ・文化交流



ボランティア支援制度 人道支援

社会貢献



世界にはこんな課題が

世界中には何らかの理由で満足な食事や医療を受けることの出来ない人々や、戦争や災害などにより人間らしい生活が脅かされている人たちがたくさんいます。2019年時点で中程度または深刻な食糧不安を抱える人口の割合は全人口の25.9%となっています。また、地域によっては女性の人権が軽んじられ、十分な教育を受けられないがために、貧しさから抜け出すことができません。

いかなる環境に生まれてきた人も、すべての人が人間らしい生活を送ることが出来るように、早急に対策が求められています。

IWATAが目指す未来

地球上に暮らすすべての人々が、平和で安心して生活出来ること。十分な食事と衛生的な生活環境が維持されること。生きていくのに十分な教育が受けられること。

岩田商会は、人が人として生きられるよう、企業活動を通しての支援を行います。

IWATAの取り組み

2020年9月に施行された『ボランティア休暇制度』は、災害ボランティアを含めた各種奉仕活動を通じ、社会貢献を行いたいとする社員の気持ちを支援する制度です。

また、使用済み切手を収集し、紛争や戦争で困難の中に生きる人々の、命と生活を守る支援を行っている団体(日本国際ボランティアセンター)へ寄付。

継続事業として、施設へのクリスマスプレゼントの寄付も行っています。

TOPICS

日本国際ボランティアセンター

紛争、貧困、世界には自身の力で貧しさから抜け出すことが難しい人々が沢山います。

日本国際ボランティアセンターでは、寄付やモノの回収を通じ、アジア・中東・アフリカの貧しい環境で生きる人々の支援を行っています。

岩田商会では、社会貢献活動のひとつとして、使用済み切手を回収し、日本国際ボランティアセンターを通じ人道支援を行っています。



「気候変動」「地球温暖化」への対策は、当グループが取り組むべき重要課題です。

2022年3月、IWATAグループ（9社）は「S B T（Science Based targets）」参画を宣言しました。

私達の掲げるG H G（温室効果ガス）排出削減の目標が、グラスゴー気候合意が目指す「2100年の世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5°Cを下回る水準に抑える」に適合していると国際的な環境団体S B T イニシアチブから認定されました。

▶ IWATAグループが掲げるG H G削減目標

Scope1・Scope2のGHG排出量を2018年の基準年から2030年迄に50%削減します

▶ IWATAグループ CO2排出量	2018年	5,130.64 t-co2
	2022年	4,557.65 t-co2（2018年比 88.83%）



障がい者雇用支援 宮崎事業所 コルディアール農園



障がいを理由に社会に出て働くことを困難に感じる方が多くいます。

岩田商会では、障がいのある方を正規従業員として雇用し、『コルディアール日南農園』内において水耕栽培による野菜の栽培・収穫・梱包を行っています。これらの取組みにおける雇用の場の提供は、障がいの者の経済的自立を後押ししています。

収穫した野菜は地域の販売所を通じて一般消費者の方の手に渡ります。

また、定期的に従業員への配布も行い、雇用支援への理解と、従業員間の交流につなげています。



健康経営優良法人【中小規模法人部門】



2023

人が企業の財産であるという考えから、従業員が心身ともに安心して健康に働くことができる職場環境づくりを進めています。

健康経営優良法人とは、日本健康会議によって「優良な健康経営を実践している企業である」と認定された法人を指します。

IWATAの取組みが評価され『2022年 健康経営優良法人』の認定を受けました。

IWATAの健康経営に関する取組み

- ▶健康診断・人間ドック 受診率100%
- ▶禁煙外来補助制度
- ▶婦人科健診全額補助 など
- ▶ストレスチェック実施
- ▶ウォーキングイベント実施



生物多様性保全のため『経団連自然保護協議会』へ寄付を行っています。

『経団連自然保護協議会』の支援するプロジェクト

- ▶ケニア山麓ガティウル森林保全活動
- ▶ブルキナファソ・ヤルカ村 ミツバチの森プロジェクト
- ▶インドネシア・スマトラ島 ブキ・ハリサン・スラタン国陸公園における絶滅危惧動物の包括的保護モデルの構築。
- ▶北海道の里海における海の鳥獣の生態と保全研究及び普及活動 など

高校生を対象にしたインタビュープログラムの実施



愛知県内の高校を対象に、キャリア教育・探求学習の一環としてインタビュープログラムを実施しました。体験を通じて学生の職業感の習得を促し、企業のSDGsの取り組みについて考える機会としてもらいました。インタビュープログラムを通しての経験が学生生活の充実と、主体的な進路選択に役立つことを願っています。

フードバンク『セカンドハーベスト』への食品の寄付



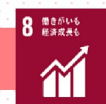
<https://www.2h-nagoya.org/>

賞味期限が近づき、まだ食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品や、規格外の食べ物などを引き取り、寄付を集め、生活に困っている個人や福祉団体へ無料で提供する『フードバンク』と呼ばれる団体があります。

岩田商会では、フードバンクの活動を続けている『セカンドハーベスト名古屋』へ災害備蓄品の缶入りパンの寄付を行っています。年に一度の備蓄品の入れ替え時に、約300個の缶入りパンの寄付を行い、それらは『セカンドハーベスト名古屋』から支援を必要とする方々に届けられています。

これらの活動は、貧困により食べるのに困る方の支援だけでなく、食品ロスの回避にもつながっています。

くるみんマーク取得



「くるみんマーク」とは厚生労働大臣から「子育てサポート企業」として基準を満たしている企業に与えられる証です。岩田商会では、『仕事』と『育児』の両立支援に向けた環境の整備を進め、その取り組みを通して「子育てサポート企業」としての評価につながりました。

【岩田商会の子育て支援行動計画】

- ▶子育てを行う社員にとって働きやすい環境を整備する
- ▶男性社員が育児休業を取得し役位環境を整備する

 **IWATA** SINCE 1902

